

# 補助犬との暮らしを応援します



盲導犬



介助犬



聴導犬



身体障害者補助犬をご存知ですか？

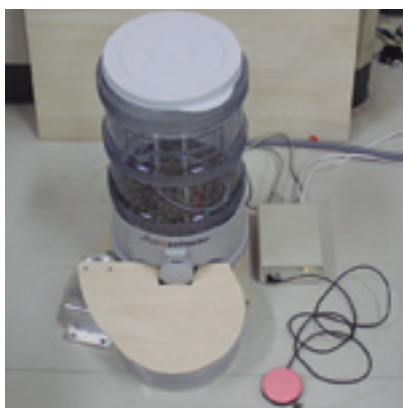
目や耳や手足の不自由な人の生活をお手伝いする、「盲導犬」「介助犬」「聴導犬」のことです。

特別な訓練を受けた犬たちで「身体障害者補助犬法」に基づき認定されています。

研究開発課では、補助犬を適切に管理するための機器開発を行っています。



【ボール投げ機】 飼い主と犬との主従関係を明確にすることがポイントとなります。飼い主がボールを投げる力がなくてもボタンひとつでボールを投げられる工夫を考えました。



【給餌機】 犬のエサの袋を開けて適量を出すのは大変な動作です。この装置はボタンを押すと一定量のエサがスピーディに自動的に出てくる仕組みになっています。



【リードフック】 介助犬が車いすから離れないように車いす専用のひもをかけるフック(リードフック)を作りました。車いすの種類が変わっても簡単に取り付けられます。



【電動フック】 介助犬につけている紐(リード)を車いすに取り付けたり取り外したりするのは大変です。このボタンを犬が押せば、リードの取り付け、取り外しを犬自信ができるようになります。



【盲導犬ハーネス】 現在の盲導犬用ハーネスは、手首をひねらないと持つことができませんでした。この新型のハーネスは、人間が普通に歩くときと同じように手首をひねらずに使え、手首にかかる負担を減らすことができます。



【盲導犬用胴輪】 従来の胴輪は皮製で犬の臭いが染み込み、汚れも落とせませんでした。そこで新しく開発したこの胴輪は、合成皮革を用いたため臭いが染み込みません。